

METHOD AND SYSTEM FOR VIEWING LOG MANAGEMENT, MANAGING SERVER AND TERMINAL DEVICE OF VIEWING LOG MANAGEMENT SYSTEM, AND RECORDING MEDIUM WHERE THE METHOD IS PROGRAMMED AND RECORDED

Publication number: JP2002149693 (A)

Publication date: 2002-05-24

Inventor(s): YAMAMOTO TAKAYOSHI; TANAKA TAKUYA; YAMAMOTO TOSHIYA

Applicant(s): PIONEER ELECTRONIC CORP

Classification:

- international: G06Q30/00; G06F13/00; G06F17/30; G06F17/40; G06Q30/00; G06F13/00; G06F17/30; G06F17/40; (IPC1-7): G06F17/30; G06F13/00; G06F17/40; G06F17/60

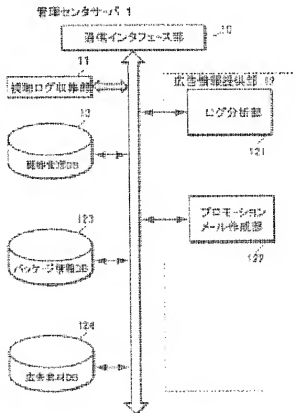
- European:

Application number: JP20000339629 20001107

Priority number(s): JP20000339629 20001107

Abstract of JP 2002149693 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To receive provided advertisement service relating to music and film distribution, etc., matching user's tastes by recording viewing logs of package media and broadcast media. **SOLUTION:** The viewing log of the package media or broadcast media which are provided locally is recorded and gathered in a batched manner by a managing center server 1 to structure a mechanism which automatically distributes the best advertisement contents for the viewing log from the managing center server 1. To this end, the managing center server 1 comprises a viewing log gathering part 11 which gathers the viewing log recorded on a terminal device 3 through a communication network 4 in a batched manner and an advertisement information providing part 12 which automatically distributes the best advertisement contents for the viewing log and the terminal device 3 is composed of a viewing log recording part 33 which records the viewing long showing the reproduction state of the package media or broadcast media and a viewing log transmission part 34 which mails the recorded viewing log at a log gathering request made by the server.



Data supplied from the *esp@cenet* database — Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特權2002-149693

(P2002-149693A)

(43)公開日 平成14年5月24日(2002.5.24)

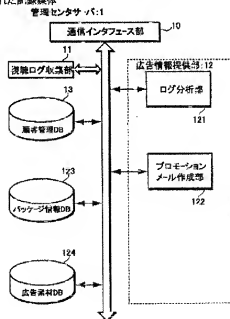
(51)Int.Cl. G 0 6 F 17/30	識別番号 3 4 0 1 1 0 1 7 0 5 4 0 3 1 0	F I C 0 6 F 17/30	3 4 0 B 1 1 0 F 1 7 0 Z 5 4 0 R 3 1 0 Z	7-マコ-ト' (参考)
13/00 17/40		13/00 17/40		
審査請求 未請求 請求項の数21 O L (全 10 頁) 最終頁に続く				
(21) 出版番号	特願2000-339629(P2000-339629)	(71) 出願人	000003016 バイオニア株式会社 東京都目黒区目黒1丁目4番1号	
(22) 出願日	平成12年11月7日(2000.11.7)	(72) 発明者	山本 勝祐 東京都目黒区目黒1丁目4番1号 バイオ ニア株式会社内	
		(72) 発明者	田中 孝也 東京都目黒区目黒1丁目4番1号 バイオ ニア株式会社内	
		(74) 代理人	100063565 弁理士 小橋 信淳	
		最終頁に続く		

(54) 【発明の名称】 視聴ログ管理方法、視聴ログ管理システム、視聴ログ管理システムにおける管理サーバならびに端末装置、同方法がプログラムされ記憶された記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 パッケージメディア、放送メディアの視聴ログを記録することにより、ユーザの嗜好に沿った音楽、映画配信等に関連する広告サービス提供を受ける。

【解決手段】 ローカルで行われるバージョンメディアあるいは放送メディアの視聴ログを記録し、管理センターサーバにバックアップ収集することで、管理センターサーバからの視聴ログに最適な広告コンテンツを自動配信する仕組みを構築する。のための、管理センターサーバ1は、本装置3に記録される視聴ログを通信ネットワーク4経由でバックアップ収集する視聴ログ取込部11と、収集した視聴ログを分析することにより、その視聴ログに最適な広告コンテンツを自動配信する広告情報提供部12で構成され、端末装置3は、パッケージメディアもしくは放送メディアの再生状況が示される視聴ログを記録する視聴ログ記録部33と、視聴ログをサーバから発行される広告配信要求に依って記録した視聴ログをメール送信する視聴ログ取込部34で構成される。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数のローカル端末になされるユーザの視聴行動の履歴を管理センタで集中管理する視聴ログ管理方法であって、ユーザの視聴履歴のログデータを記録して保管し、前記管理センタからの収集要求に応じて前回の収集要求以降に保管していた前記ログデータの全てを前記管理センタに送信することを特徴とする視聴ログ管理方法。

【請求項 2】 送信された前記ログデータが分析されてユーザの嗜好データが生成されることを特徴とする請求項 1 に記載の視聴ログ管理方法。

【請求項 3】 前記嗜好データに応じた広告情報データを選択してユーザ個人に向けた広告配信を行うことを特徴とする請求項 2 に記載の視聴ログ管理方法。

【請求項 4】 前記ログデータは、パッケージメディアの再生履歴を示すものであることを特徴とする請求項 1乃至 3 のいずれか 1 項に記載の視聴ログ管理方法。

【請求項 5】 前記ログデータは、少なくとも、パッケージの ID、パッケージのうちの再生されたコンテンツの番号、を含むことを特徴とする請求項 1乃至 3 のいずれか 1 項に記載の視聴ログ管理方法。

【請求項 6】 前記ログデータは、前記コンテンツの視聴時間と再生実行時間、前記コンテンツの録音の有無、を含むことを特徴とする請求項 5 に記載の視聴ログ管理方法。

【請求項 7】 複数の端末装置においてなされるユーザの視聴行動の履歴を管理センタで集中管理する視聴ログ管理システムであって、前記端末装置で行われた視聴履歴のログデータを記録して保管する 1 以上の端末装置と、前記端末装置とは通信回線を介して接続され定期的に前記端末装置で保管された前記ログデータを前記通信回線を介して収集する管理センタサーバと、を有することを特徴とする視聴ログ管理システム。

【請求項 8】 前記管理センタは、前記端末に対してログデータの収集要求を行う視聴ログ収集部を有することを特徴とする請求項 7 に記載の視聴ログ管理システム。

【請求項 9】 複数の端末装置においてなされるユーザの視聴行動の履歴を管理センタで集中管理する視聴ログ管理システムの管理センタサーバであって、前記端末装置で随時記録される保管される視聴履歴のログデータを一括収集する視聴ログ収集部と、

収集した前記ログデータからユーザの嗜好を分析してその結果に応じてユーザに送信する広告コンテンツを生成する広告情報提供部と、

を備えることを特徴とする視聴ログ管理システムの管理センタサーバ。

【請求項 10】 前記広告情報提供部は、前記ログデータを分析してユーザの嗜好データを生成するログ分析部と、前記嗜好データに応じた広告情報データを選択して

添付し、ユーザ個人向けに送信する広告メールを生成するプロモーションメール作成部を備えたことを特徴とする請求項 9 に記載の視聴ログ管理システムの管理センタサーバ。

【請求項 11】 前記広告情報提供手段は、パッケージメディアに記録された固有の ID 毎にそのパッケージの属性データが格納されたパッケージ情報データベースと、複数の前記広告情報データが格納された広告情報データベースとを更に備えることを特徴とする請求項 10 に記載の視聴ログ管理システムの管理センタサーバ。

【請求項 12】 前記ログ分析部は、前記ログデータに記録された視聴行動を分析して視聴行動に応じた重み付けを付したポイントと付与してユーザの嗜好度合を数値化するログ分析本体部を含むことを特徴とする請求項 10 または 11 に記載の視聴ログ管理システムの管理センタサーバ。

【請求項 13】 前記プロモーションメール作成部は、前記広告情報データベースから前記嗜好データに応じた広告情報データを選択する広告情報データベース参照部と、前記選択された広告情報データを添付してユーザ個人に特化した個人向け広告メールを作成するプロモーションメール作成本体部と、前記プロモーションメール作成本体部により作成されたプロモーションメールを各個人に向けて配信するプロモーションメール配信部とを備えたことを特徴とする請求項 11 に記載の視聴ログ管理システムの管理センタサーバ。

【請求項 14】 複数の端末装置においてなされるユーザの視聴行動の履歴を通信回線を介して接続された管理センタで集中管理する視聴ログ管理システムの端末装置であって、

パッケージメディアの視聴履歴のログデータを生成して保管する視聴ログ生成記録部と、

前記管理センタからの収集要求に応じて前回の収集要求以降に保管していた前記ログデータの全てを前記管理センタに送信する視聴ログ送信部と、を備えたことを特徴とする視聴ログ管理システムの端末装置。

【請求項 15】 前記視聴ログ生成記録手段は、前記パッケージメディアの ID、インデックス情報、再生中に演奏する楽曲の時間情報、および録音装置の動作状態を監視してその状況をデータとして生成するログデータ生成手段を含むことを特徴とする請求項 14 に記載の視聴ログ管理システムの端末装置。

【請求項 16】 複数の端末装置においてなされるユーザの視聴行動の履歴を管理センタで集中管理する視聴ログ管理システムに用いられる管理センタサーバのサーバプログラムが記録されたコンピュータ読取り可能な記録媒体であって、前記サーバプログラムは、ユーザの視聴履歴のログデータをバッチ収集する第 1 のステップと、収集したログデータを分析してユーザの嗜好データを生成する第 2 のステップとを含み、

前記第1～第2のステップをコンピュータに実行させることを特徴とする管理センタサーバのサーバプログラムが記録された記録媒体。

【請求項17】 前記サーバプログラムは、前記嗜好データに応じて選択した広告コンテンツ添付した個人向けメールを作成し前記端末装置に送信する第3のステップを含むことを特徴とする請求項16に記載の管理センタサーバのサーバプログラムが記録された記録媒体。

【請求項18】 前記第1のステップは、前記単発装置に対して所定のタイミングで前記ログデータの収集要求を行うステップと、前記端末装置から送信されるログデータを受信するステップとを含むことを特徴とする請求項16又は17に記載の管理センタサーバのサーバプログラムが記録された記録媒体。

【請求項19】 前記第2のステップは、前記パッケージメディアの再生状況のそれぞれに重み付けを付したポイントによりユーザの音楽嗜好を数値化するステップを含むことを特徴とする請求項16又は17に記載の管理センタサーバのサーバプログラムが記録された記録媒体。

【請求項20】 複数の端末装置においてなされるユーザの視聴行動の履歴を通信回線を介して接続された管理センタで集中管理する視聴ログ管理システムに用いられる端末装置の端末プログラムが記録されたコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

前記端末プログラムは、パッケージメディアの視聴履歴のログデータを生成して保管する第1のステップと、前記管理センタからの収集要求に応じて前回の収集要求以降に保管していた前記ログデータの全てを前記管理センタに送信する第2のステップと、

送信後に保管していた前記ログデータを消去する第3のステップと、 ならなり、

前記第1～第3のステップをコンピュータに実行させることを特徴とする端末装置の端末プログラムが記録された記録媒体。

【請求項21】 前記第1のステップは、前記パッケージメディアの1D、インデックス情報、再生中における楽曲の時間情報、および録音装置の動作状態を監視するステップと、監視した状況をデータとして生成するステップとからなることを特徴とする請求項20に記載の端末装置の端末プログラムが記録された記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、端末装置で記録された視聴ログの管理方法、視聴ログ管理システム、該システムにおける管理サーバならびに端末装置、同方法がプログラムされ記録された記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】最近、様々なインターネット広告サービスが提供されるようになった。成果報酬型のネット広

告、あるいは電子メールを活用したところでは、ユーザにあらかじめ電子メールアドレスと欲しいジャンルの情報を登録してもらい、その情報に対応する広告のみを配信するサービス形態である。この場合、情報を欲するユーザに対してユーザが欲する情報のみを編集した個人向け広告を配信するため、不特定多数に向けた従来の広告に比べ期待できる成果が高い。

【0003】一方、マイクロプロセッサの高性能化およびソフトウェア技術の進歩に伴ってパソコンの多様化が進み、最近では事務処理以外に、AV (Audio Visual) 専用の編集パソコン (端末装置) が出現するに至った。この編集パソコンで音楽配信が受けられるのは勿論のこと、オンエア楽曲情報の入手、あるいはビデオ動画編集等、その機能はさまざまである。また、ハードディスク装置の小型、廉価、大容量化に伴い、パソコンをベースとしたインテリジェント機能を付ったオーディオセンタ (ホームサーバ) を構築し、家庭内では勿論のこと、外出先でもワイヤレス端末を携帯することで音楽や映像を楽しむ環境ができつつある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記した情報通信環境と端末装置要素技術に基づいてなされたものであり、ユーザ端末等のローカルで行われるパッケージメディア視聴のログを記録して送信し管理センタに収集するシステムを構築し、さらにセンタにおいて収集したログを分析する手段を設けることにより、ユーザ層々の音楽、映像嗜好を把握し、嗜好に合致した広告コンテンツの配信に貢献できる、視聴ログ管理方法、当該方法のプログラムが記録された記録媒体、視聴ログ管理システム、および視聴ログ管理システムにおける管理センタサーバ、ならびに端末装置、を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記した課題を解決するために請求項1に記載の発明は、複数のローカル端末になされるユーザの視聴行動の履歴を管理センタで集中管理する視聴ログ管理方法であって、ユーザの視聴履歴のログデータを記録して保管し、前記管理センタからの収集要求に応じて前回の収集要求以降に保管していた前記ログデータの全てを前記管理センタに送信することを特徴とする。

【0006】請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の視聴ログ管理方法において、送信された前記ログデータが分析されてユーザの嗜好データが生成されることを特徴とする。

【0007】請求項3に記載の発明は、請求項2に記載の視聴ログ管理方法において、前記嗜好データに応じて広告情報データを選択してユーザ個人に向けた広告配信を行うことを特徴とする。

【0008】請求項4に記載の発明は、請求項1乃至3

のいずれか1項に記載の視聴ログ管理方法において、前記ログデータは、パッケージメディアの再生履歴を示すものであることを特徴とする。

【0009】請求項5に記載の発明は、請求項1乃至3のいずれか1項に記載の視聴ログ管理方法において、前記ログデータは、少なくとも、パッケージのID、パッケージのうちの再生されたコンテンツの番号、を含むことを特徴とする。

【0010】請求項6に記載の発明は、請求項5に記載の視聴ログ管理方法において、前記ログデータは、前記コンテンツの総時間と再生実行時間、前記コンテンツの録音の有無、を含むことを特徴とする。

【0011】請求項7に記載の発明は、複数の端末装置においてなされるユーザの視聴行動の履歴を管理センタで集中管理する視聴ログ管理システムであって、前記端末装置で行われた視聴履歴のログデータを記録して保管する1以上の端末装置と、前記端末装置とは通信回線を介して接続され定期的に前記端末装置で保管された前記ログデータを前記通信回線を介して収集する管理センタサーバと、を有することを特徴とする。

【0012】請求項8に記載の発明は、請求項7に記載の視聴ログ管理システムにおいて、前記管理センタは、前記端末に対してログデータの収集要求を行う視聴ログ収集部を有することを特徴とする。

【0013】請求項9に記載の発明は、複数の端末装置においてなされるユーザの視聴行動の履歴を管理センタで集中管理する視聴ログ管理システムの管理センタサーバであって、前記端末装置で随時記録され保管される視聴履歴のログデータを一括収集する視聴ログ収集部と、収集した前記ログデータからユーザの嗜好を分析してその結果に応じてユーザに送信する広告コンテンツを生成する広告情報提供部とを備えることを特徴とする。

【0014】請求項10に記載の発明は、請求項9に記載の視聴ログ管理システムの管理センタサーバにおいて、前記広告情報提供部は、前記ログデータを分析してユーザの嗜好データを生成するログ分析部と、前記嗜好データに応じた広告情報データを選択して添付し、ユーザ個人向けに送信する広告メールを生成するプロモーションメール作成部を備えたことを特徴とする。

【0015】請求項11に記載の発明は、請求項10に記載の視聴ログ管理システムの管理センタサーバにおいて、前記広告情報提供手段は、パッケージメディアに記録された固有のID毎にそのパッケージの属性データが格納されたパッケージ情報データベースと、複数の前記広告情報データが格納される広告情報データベースと、を更に備えることを特徴とする。

【0016】請求項12に記載の発明は、請求項10又は11に記載の視聴ログ管理システムの管理センタサーバにおいて、前記ログ分析部は、前記ログデータに記録された視聴行動を分析して視聴行動に応じた重み付けを

付したポイントを付与してユーザの嗜好度合を数値化するログ分析本部を含むことを特徴とする。

【0017】請求項13に記載の発明は、請求項11に記載の視聴ログ管理システムの管理センタサーバにおいて、前記プロモーションメール作成部は、前記広告情報データベースから前記嗜好データに応じた広告情報データを選択する広告情報データベース参照部と、前記選択された広告情報データを添付してユーザ個人に特化した個人向け広告メールを作成するプロモーションメール作成本部と、前記プロモーションメール作成本部により作成されたプロモーションメールを各個人に向けて配信するプロモーションメール配信部とを備えたことを特徴とする。

【0018】請求項14に記載の発明は、複数の端末装置においてなされるユーザの視聴行動の履歴を通信回線を介して接続された管理センタで集中管理する視聴ログ管理システムの端末装置であって、パッケージメディアの視聴履歴のログデータを生成して保管する視聴ログ生成記録部と、前記管理センタからの収集要求に応じて前回の収集要求以降に保管していた前記ログデータの全てを前記管理センタに送信する視聴ログ送信部とを備えたことを特徴とする。

【0019】請求項15に記載の発明は、請求項14に記載の視聴ログ管理システムの端末装置において、前記視聴ログ生成記録手段は、前記パッケージメディアのID、インデックス情報、再生中における楽曲の時間情報、および録音装置の動作状態を監視してその状況をデータとして生成するログデータ生成手段を含むことを特徴とする。

【0020】請求項16に記載の発明は、複数の端末装置においてなされるユーザの視聴行動の履歴を管理センタで集中管理する視聴ログ管理システムに用いられる管理センタサーバのサーバプログラムが記録されたコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、前記サーバプログラムは、ユーザの視聴履歴のログデータをバッチ収集する第1のステップと、収集したログデータを分析してユーザの嗜好データを生成する第2のステップとを含み、前記第1～第2のステップをコンピュータに実行させることを特徴とする。

【0021】請求項17に記載の発明は、請求項16に記載の管理センタサーバのサーバプログラムが記録された記録媒体において、前記サーバプログラムは、前記嗜好データに応じて選択した広告コンテンツ添付した個人向けメールを作成し前記端末装置に送信する第3のステップを含むことを特徴とする。

【0022】請求項18に記載の発明は、請求項16又は17に記載の管理センタサーバのサーバプログラムが記録された記録媒体において、前記第1のステップは、前記単体装置に対して所定のタイミングで前記ログデータの収集要求を行うステップと、前記端末装置から送信

されるログデータを受信するステップを含むことを特徴とする。

【0023】請求項19に記載の発明は、請求項16又は17に記載の管理センササーバのサーバプログラムが記録された記録媒体において、前記第2のステップは、前記パッケージメディアの再生状況のそれぞれに重み付けを付したポイントによりユーザーの音楽嗜好を数値化するステップを含むことを特徴とする。

【0024】請求項20に記載の発明は、複数の端末装置においてなされるユーザーの視聴行動の履歴を通信回線を介して接続された管理センタで集中管理する視聴ログ管理システムに用いられる端末装置の端末プログラムが記録されたコンピュータ読取り可能な記録媒体であって、前記端末プログラムは、パッケージメディアの視聴履歴のログデータを生成して保管する第1のステップと、前記管理センタからの収集要求に応じて前回の収集要求以降に保管していた前記ログデータの全てを前記管理センタに送信する第2のステップと、送信後に保管していた前記ログデータを消去する第3のステップとからなり、前記第1〜第3のステップをコンピュータに実行させることを特徴とする。

【0025】請求項21に記載の発明は、請求項20に記載の端末装置の端末プログラムが記録された記録媒体において、前記第1のステップは、前記パッケージメディアのID、インデックス情報、再生中における楽曲の時間情報、および録音装置の動作状態を監視するステップと、監視した状態をデータとして生成するステップとからなることを特徴とする。

【0026】
【発明の実施の形態】図1は、本発明における視聴ログ管理システムを利用した広告コンテンツの自動配信方法を実現するビジネスモデルならにその利用主体の関係を説明するために引用した図である。

【0027】図1において、1は、広告主の依頼に基づき、音楽あるいは映画の広告プロモーションを行なう事業者に備え付けの管理センササーバであり、通信ネットワーク4を介して接続される一般ユーザーが持つ複数の端末装置3と接続される。端末装置3は、通常は1SP (Information Service Provider) を介して通信ネットワーク4に接続される。

【0028】端末装置3は、ここではホームサーバのようなインテリジェント機能を備えたものを想定し、C、D、DVD (Digital Versatile Disk) 等のパッケージメディア、あるいは通信ネットワーク4を介して配信される音楽あるいは映画の放送メディアの視聴履歴、更には、放送楽曲マーク、MD、C、D-Rへのダビング等の視聴履歴をログデータ (視聴ログ) として都度記録しておくものとする。管理センササーバ1は、その視聴ログを、週に1回程度定期的に、あるいは不定期に通信ネットワーク4経由で吸い上げ、端末利用者の嗜好を分析

し、嗜好に合致した、チャート情報、新着情報、コンサート情報、上映情報等の音楽映画配信情報に関する広告メニューを送り込む。

【0029】管理センササーバ1は、顧客管理データベース (DB) 13、パッケージ情報DB123、広告素材DB124を管理し、これら各DBを参照することによって視聴ログを分析し、その視聴ログに沿った音楽、映画関連の最適な広告コンテンツを自動配信することで販促プロモーションを実行する。これらDBのデータ構造等については後述する。ユーザーは、特定楽曲あるいは映画の視聴行動をとるたびに関連情報を受信できる他、メニュー操作により、C、D、チケット通販や音楽配信等のサービスを受けることができる。なお、集計された視聴ログは、嗜好調査のマーケティングにも利用される。

【0030】図2は、図1に示す管理センササーバ1の内部構成を機能別に分けて示した図である。図1に示す各ブロックは、具体的に、CPUならにメモリを含むその周辺LSIで構成され、CPUがメモリに記録されたプログラムを逐次読み出し実行することにより、そのブロックが持つ機能を実行するものである。

【0031】管理センササーバ1は、通信インタフェース部10、視聴ログ収集部11、広告情報提供部12、顧客管理DB13、パッケージ情報DB123、広告素材DB124、から成る。視聴ログ収集部11は、端末装置3に記録された視聴ログを通信ネットワーク4、通信インタフェース部10経由でバッチ収集して広告情報提供部12に供給する。視聴ログの収集は、各端末に対して定期又は不定期に実行されるが、この収集実行のスケジュールは視聴ログ収集部11において管理される。広告情報提供部12は、視聴ログ収集部11によって収集された視聴ログを後述する方法に従って分析することにより、その視聴ログに最適な広告コンテンツを自動配信する機能を持つ。

【0032】広告情報提供部12は、ログ分析部121と、プロモーションメール作成部122から成る。ログ分析部121は、後述するパッケージ情報DB123を参照することにより、視聴ログからユーザーの嗜好データを生成する機能を持ち、プロモーションメール作成部122は、ログ分析部121によって生成出力されるユーザーの嗜好データに特化した広告コンテンツを広告素材DB124から選択して得、そして貼り付け、個人向け電子メールとして配信する機能を持つ。

【0033】ログ分析部121の内部構成は図3に、プロモーションメール作成部122の内部構成は、図4にそれぞれ示されている。ログ分析部121は、パッケージ情報DB123を参照してその属性データを得るパッケージ情報DB参照部201と、パッケージ情報DB参照部201によって得られる属性データに基づき視聴ログの再生状況のそれぞれに重み付けを付したポイントによりユーザーの嗜好を把握するログ分析本体部200と、

ログ分析本体部200による分析結果を嗜好データに反映させる嗜好データ生成部202から成る。

【0034】プロモーションメール作成部122は、広告素材DB124を参照することにより、ログ分析部121から出力される嗜好データに応じて広告素材を選別し、最適な広告コンテンツを得る広告素材DB参照部301と、選択された広告コンテンツを添付してユーザ毎に特化した個人向け広告メールを作成するプロモーションメール作成本体部300と、プロモーションメール作成本体部300により作成されたプロモーションメールを個人向けに配信するプロモーションメール配信部302から成る。

【0035】説明を図2に戻す。顧客管理DB13は、そのレコード構造を図6に示すように、端末装置ID毎、個人情報(パスワード、氏名、年齢、性別、住所、メールアドレス、クレジットカード情報)、視聴ログデータ、広告送信履歴データ、購買履歴データがフィールドデータとして構築され、管理センササーバ1にて、端末装置ID別に、全ての視聴履歴、個人広告の送信履歴、更には、個人広告に基づくパッケージメディア等関連製品の購買実績が管理される。視聴ログの受信、個人広告の送信および個人広告に促されて購買がなされた場合に、その内容が更新される。

【0036】また、パッケージ情報DB123には、パッケージメディアのID、例えばディスクのID(ディスクのタイトルに応じて固有に付与されるID)に関連付けられ、そのID毎、楽曲あるいはタイトル名、アーティスト名、出演スタッフ等関連情報が格納されている。更に、広告素材DB124は、ディスクやコンサートチケットに関する広告素材を管理するために用いられ、各種広告情報がマメディア情報として格納され、視聴ログに見合った広告情報を提供する。

【0037】図3は、図1に示す端末装置3の内部構成を示すブロック図であり、ここでは、ホームサーバ(HS)が例示されている。ホームサーバは、HS本体部30を制御部とし、通信制御部31、視聴ログ作成部32、視聴ログ記録部33、ブラウザ部34、ハードディスク装置35、音楽・映像ソース再生もしくは記録部36-39、AV出力機器(スピーカ42、オーディオ回路部43、表示モニタ部44、表示制御部45)、そして、リモコン等の操作部40、入力インタフェース部41にて構成される。上記した各ブロックは、内部バス46に共通に接続される。

【0038】視聴ログ作成部32は、HS本体部30による監視の下、CD、DVD、CD-R、MD等のパッケージメディア、もしくは通信制御部31を介して入手し、HDD33に蓄積された放送メディアの再生状況をモニタし、それを視聴ログとして生成し、視聴ログ記録部33に記録する。管理センササーバ1の視聴ログ収集部11から定期的にあるいは不定期に発せられるログ取

集要求(ポーリング)に基づきその視聴ログを応答データとしてメール送信する。この応答データのメール送信は、ブラウザ部34、通信制御部31を介して行われる。

【0039】なお、視聴ログ作成部32は、HS本体部30の制御の下で、例えば、パッケージメディアがCDであった場合、ユーザズコードに記録されるディスクIDのインデックスデータが記録されるTOC(Table of Contents)情報を採取し、再生中における楽曲のユーザズコードおよび録音装置の動作状態をみてその状況をデータとして生成する。パッケージメディアがDVDビデオであった場合は、CD同様に、ディスクIDのインデックス番号、あるいは、再生シーンの番号等を状況データとして採取する。これらの情報に基づき、管理センササーバ1サイドでパッケージ情報DB123を参照することにより、パッケージメディアのタイトル等の関連情報がわかる仕組みになっている。

【0040】視聴ログ一例を図7に示す。図7は、パッケージメディアとしてCDを例示しており、ここでは、日付、再生時間、ディスクID、楽曲番号、楽曲時間、各楽曲毎の視聴時間、録音の有無に関する情報が視聴ログとして採取されるものとする。ホームサーバ3は、HS本体部30により、CD再生部36を介して読み込まれたTOC情報からディスクIDを、また、再生中の楽曲のユーザズコード(Pチャンネル、Qチャンネル)から視聴時間を、そして、記録再生部38、39の動作モードをチェックすることにより録音有無を得、視聴ログを生成し、記録する。この視聴ログにより、ユーザが再生した楽曲、あるいは録音した楽曲等を知ることができ、また、楽曲の再生時間も記録されており、再生した楽曲が実際に視聴されたか、あるいは殆ど視聴されていないかの管理センササーバ1での判断に利用される。ここで記録された視聴ログは、メールとしてブラウザ部34、通信制御部31経由で管理センササーバ1へ送信される。

【0041】図8、図9は、本発明実施形態の動作を説明するために引用したフローチャートであり、視聴ログの受信から嗜好の分析を経て個人広告送付に至る手順、広告送付から購買に至る手順のそれぞれが示されている。

【0042】以下、図8、図9に示すフローチャートを参照しながら、図1乃至図7に示す本発明実施形態の動作について詳細に説明する。

【0043】まず、管理センササーバ1の視聴ログ収集部11は、ポーリングにより視聴ログ収集要求を発する(ステップS81)。ポーリングを受けた端末装置3は、前回の収集要求以降において視聴ログ作成部32によって作成され、視聴ログ記録部33に蓄積された視聴ログを取り出し、ブラウザ部34によりメールに貼り付け、通信制御部31を介して管理センササーバ1に送信

する。そして、管理センササーバ1からの着信確認を得る。視聴ログ記録部に蓄積されていた視聴ログを消去する。

【0044】管理センササーバ1は、通信インタフェース部10経由で視聴ログ収集部11でその視聴ログを受信し(ステップS83)、顧客管理DB13の視聴ログファイルの内容を更新する(ステップS84)と共に、その視聴ログを広告情報提供部12に供給する。視聴ログの供給を受けた広告情報提供部12では、まず、ログ分析部121でその視聴ログの分析を行なう。

【0045】ログ分析部121では、まず、パッケージ情報DB参照部201でパッケージ情報DB123を参照することにより、ディスクIDから楽曲名、アーティスト名等を知る。そして、ログ分析本体部200で、後述するように、一定の規則に基づいた嗜好ポイントを加えていき、ユーザの好みのアーティスト、楽曲等を探る(ステップS85)。ここでお気軽に入り度を分析することでユーザの音楽嗜好を把握し、嗜好データ生成部202でプロモーションメール作成部122へ供給する嗜好データを生成する。以降、その嗜好データに基づいた新しいパッケージメディアの広告提供を行なう。

【0046】ポイントの考え方としては、再生回数の多い楽曲は嗜好ポイントが高いものとし、楽曲の再生時間情報を利用して、フルコース再生と部分再生とでポイントの重み付けを行なうことが考えられる。勿論、フルコース再生はポイントが高いものとする。また、読み込み回数が所定回数を超えたディスクIDは、ユーザが所有しているディスクとして判断し、高いポイントを与えるものとする。

【0047】更に、録音状態にあったディスクは、レンタルされたものと判断し、嗜好ポイントは、所有ディスクよりは低くする。但し、そのIDの読み込み回数がある回数を超えたときはユーザ所有と判断する。この場合、所有かつ録音ということになるが、お好みのプログラム編集を行なった、オートプログラムDでも聞いていると考えられるので、単なる所有よりは高いポイントが追加される。このポイント重み付けの例を一例として、図10に纏めてある。

【0048】プロモーションメール作成部122の広告素材DB参照部301は、上記したユーザ嗜好分析結果に応じ、広告素材DB124を参照し、保管されている広告コンテンツの中からユーザの趣味に合致すると考えられるパッケージコンテンツ、コンテンツチケット等の広告情報を選択する(ステップS86)。そして、プロモーションメール作成本体部300により、嗜好データに従うユーザに特化した個人向けメールを生成し、ここでは、メールに、先に選択した広告情報を添付する(ステップS87)。そして、全顧客分の嗜好データを生成し、メール作成の後、プロモーションメール配信部302を介し、それぞれの端末装置3へ配信する(ステップ

S88、S89)。

【0049】広告情報送信後の購買に至る手順は図9に示されている。すなわち、広告情報が添付されたメールを配信後(ステップS91)、端末装置3ではブラウザ部34によりその広告情報を閲覧することとなるが、そこでお気に入りのパッケージメディアを購入あるいは、チケット等に関する購入意思を伝えると、それは通信制御部31、通信ネットワーク4、通信インタフェース部10を介して管理センササーバ1に伝わり、eコマースによる処理が始まる。

【0050】ここでは、eコマースによる処理ブロックは示されていないが、仮センササーバ1では、広告に促された購買であることを確認したうえで顧客管理DB(ステップS92、S93)の購買履歴フィールドデータを更新し、嗜好ポイントとは別のeコマース特典を与える等して販売を促進させることができる。

【0051】なお、本発明実施形態においては個人プロモーション広告の作成につき、広告コンテンツを作成したメールに添付する形態のみ示したが、これに制限されることなく、例えば、チャート情報、新譜情報、コンサート情報、音楽配信情報等の対応メニューを送り込み、ユーザの更なる選択操作により対応する広告コンテンツの提供を可能とすることで、ユーザが希望するCD等のパッケージメディア、チケット通販や音楽配信等のサービスができ、一層効率的な販促が可能となる。

【0052】また、広告の送付にあたっては、ダイレクトメールのような郵送であっても良い。

【0053】また、放送メディア視聴中に、マークしてお気に入りの楽曲情報を知らせたり、CDやDVD等の音楽サイトをブラウザ経由で表示すること、更には、加入者宅へ送信された楽曲が、実際にどの程度視聴されたかを端末装置側で記録し、販促プログラムに反映させることもその応用として考えられる。

【0054】また、対象となるパッケージメディアは、CD、DVDに限られることはなく、ディスクに固有のIDをインディクスデータ、及び再生時間に対応するアドレス情報を有するパッケージメディアであれば、適用可能である。

【0055】

【発明の効果】以上説明のように本発明によれば、ユーザ端末等のローカルで行われるパッケージメディア視聴(映像または音楽の視聴)のログを記録して送信し管理センタに収集するシステムを構築したことにより、センタにおいてユーザ個人の音楽、映像等の嗜好を把握することが可能となり、個人の嗜好に合致した広告コンテンツの配信を行うことによるeコマースの販売促進といった効果が期待できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明における広告コンテンツの自動配信方法を実現するビジネスモデルならびにその利用主と関係

を説明するために引用した図である。

【図2】図1に示す管理センササーバ1の内部構成を機能展開して示した図である。

【図3】図2に示すログ分析部の内部構成を機能展開して示したブロック図である。

【図4】図2に示すプロモーションメール作成部の内部構成を機能展開して示したブロック図である。

【図5】図1に示す端末装置の内部構成を示すブロック図である。

【図6】図1に示す顧客管理DBのデータ構造を示す図である。

【図7】本発明実施形態の動作を説明するために引用した図であり、視聴ログのデータ構造を説明するために引用した図である。

【図8】本発明実施形態の動作を説明するために引用し

た図であり、視聴ログの受信から個人広告送付に至る手順を示すフローチャートである。

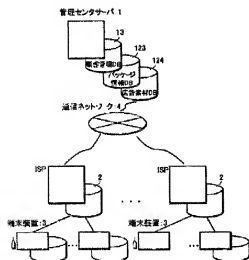
【図9】本発明実施形態の動作を説明するために引用した図であり、広告送付から購買に至る手順を示すフローチャートである。

【図10】本発明実施形態の動作を説明するために引用した図であり、重み付けの一例を表形式で示した図である。

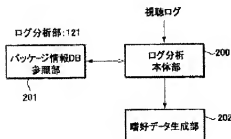
【符号の説明】

1…管理センササーバ、2…ISP、3…端末装置（ホームサーバ）、10…通信インタフェース部、11…視聴ログ収集部、12…広告情報提供部、13…顧客管理DB、121…ログ分析部、122…プロモーションメール作成部、123…パッケージ情報DB、124…広告素材DB

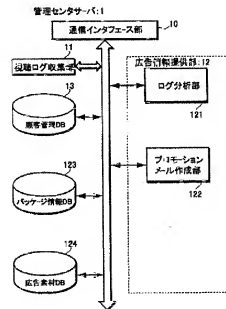
【図1】



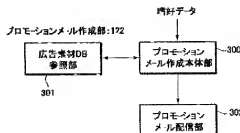
【図3】



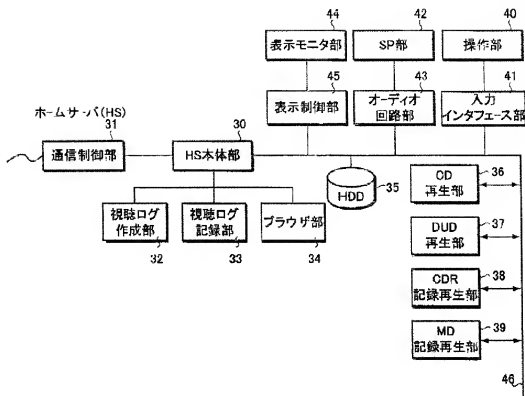
【図2】



【図4】



【図5】



【図6】

顧客管理DBの例

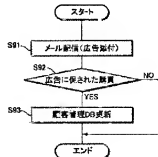
端末ID	個人情報種	視聴ログデータ	広告送信履歴	購買履歴

【図7】

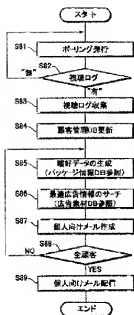
視聴ログ(CUの毎分)

日付	時間	ディスクID	番組No	放送時間	視聴時間	広告有無

【図9】



【図8】



【図10】

状況	ポイント値
再生回数(速にn回)	n
フルコース再生/部分再生	S/3
放送済み回数(m回)	m
録画/非録画	3/0

フロントページの続き

(51)Int. Cl.⁷
G 0 6 F 17/60

識別記号
3 2 6

F I
G 0 6 F 17/60

3 2 6

(参考)

(72)発明者 山本 俊哉
東京都目黒区目黒1丁目4番1号 バイオ
ニア株式会社内

Fターム(参考) 5B049 AA06 BB49 EE05 FF01 GG00
GG09
5B075 ND20 PQ02 PQ05 PR03 UU24